

地域に根ざした地産地消エネルギーシステム(温熱・電力・蓄電等)の普及モデル構築と政策提言、社会実装化

活動地域  日本全域



デンマークでの国際会議の様子

課題

自然エネルギー熱利用に関して、理論的な研究や体系的な政策に加え、社会的な実践例も乏しい。さらに、熱や電気、交通等の統合(スマート化)も日本では進んでいない。

目標

「地産地消スマートエネルギー・第4世代自然エネルギー熱利用」を進める地域政策が5地域で導入され、3地域で社会実装パイロット事業が具現化され、交流も進める。



今後の展望

欧州の再生可能エネルギー指令でも言及されているEnergy Communityの考え方を日本で広げ、地域に根ざした地産地消エネルギーシステムの具体化と実現に向けて省庁や自治体に働きかける。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

地域のスマートエネルギー化等について4DHフォーラムオンラインセミナーを2回開催した。合計約100人が参加し、満足度は高かった。地域スマートエネルギー化に関する知見を収集し、今後ガイドブックを作成する。スマートエネルギーシステム国際会議(23か国、230人参加)に日本から3人が参加して報告・議論を行い、他の国際会議等にも参加し、知見の提供を行った。複数の自治体と意見交換を行い、継続的に六つの自治体や地域の団体との意見交換を行った。省庁への政策提言やフォーラムでの意見交換を行った。



4DHオンラインセミナー

フォーラムの開催数

2回

政策提言の策定・省庁への提出

2回

今年度計画の達成度

70%

全体計画の達成度

40%

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

新型コロナウイルス禍の影響で、国際会議への参加人数を減らす、オンラインでのセミナーを増やす等した。

工夫した点

オンライン、オフラインを組み合わせさせてMTGやイベントを開催し、できる限り多くの参加を促した。

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町16-16

電話：03-3355-2200

HP：<https://www.isep.or.jp/>

